平成23年度に実施した事務事業の評価

番号	46009	事務事業名	子どもまつり事業	所管課	子ども育成課

総合計画体系（後期）			
	部	2	子育て環境の充実
	章	2	青少年の健全育成
	節（施策）	1	青少年の健全育成

【将来像】

後期基本計画の節（施策）の目標です。

心身ともに健全な青少年が育つまち

【事業の目的】

対象（誰・何）が、どのような状態になることを目指していますか？

子どもまつりの実施及び子どもまつり続行委員会、子ども実行委員等の運営。

指標名（成果指標）	説明・算定式	単位	実績の推移			23年度		目標値			
			20年度	21年度	22年度	目標	実績	24年度	25年度	26年度	27年度
出展（店）者数	新規出展（店）者数	件	7	7	2	5	7	5	5	5	5
会議の開催数	開催数/予定数	%	100	100	100	100	100	100	100	100	100

【事業の内容】

対象（誰・何）に対して、どんな手段を実施していますか（しますか）？

毎年11月3日に子どもまつりを実施している。実施にあたっては、市と市内で活動している子育て支援・青少年関係団体等で構成する実行委員会により実施している。

事業費（単位：千円）		22年度決算	23年度決算	24年度予算
事業費合計		776	890	934
財源内訳	国・県支出金		198	
	地方債			
	その他			
	一般財源	776	692	934
財源名	国・県支出金		地域子育て活動支援費補助金	
	地方債			
	その他			

平成23年度に実施した事務事業の評価

【平成23年度の実施結果】

23年度 実施計画	実行委員会・代表者会議の開催、ゾーン会議の開催、出展（店）団体の募集（広報）、子ども実行委員会の組織・運営。
実施結果	実績となる数字も入れて、分かりやすく 参加36団体（新規7団体）、実行委員会を4回、代表者会議を2回、ゾーン会議を全10回開催。子ども実行委員会は6回開催。10周年を記念したイベント「第1回宗像じゃんけん王決定戦」に400人の子どもたちが参加。全体では、1万人を超える来場者で賑わった。

【担当課の一次評価】

必要性の評価		その評価をした理由
市民のニーズはどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している 9　法令等により市に実施義務がある	評価 2	
民間、国、県、市の他の事業と目的や成果が重複していませんか？ 1　重複していない　2　一部重複している　3　重複している 9　法令等により市に実施義務がある	評価 1	本事業と同等の規模での異年齢交流や子どもの社会参画の機会の提供の場はないため。
有効性の評価		**その評価をした理由**
目的に対しての成果はどうなっていますか？ （成果指標の「23年度」欄の目標を達成できていない場合は「3」を記入） 1　向上している　2　変わらない　3　落ち込んでいる 9　法令等により市に実施義務があり、有効性を判断できない	評価 1	新規出展（店）者数が目標を上回ったため。
効率性の評価		**その評価をした理由**
コスト効率・業務効率はどうなっていますか？ 1　向上している　2　変わらない　3　低下している	評価 1	10回記念のメインイベントに対して県の補助金が交付され、例年より事業内容が向上したにもかかわらず、一般財源ベースでは支出が抑えられ、コスト効率が向上したため。

25年度の事務事業に向けての総合評価と改善策

内容・予算		総合評価	具体的な改善策（いつまでに何をしますか？）
内容	維持	23年度は、第10回を記念したメインイベントをはじめ、実行委員会を組織する各団体の協力のもと、その他新たな取り組みも実行することができ、事業内容もグレードアップし、盛会となった。一方で、毎年新たに実行委員会を組織して事業実施のため、事業の継続性に課題があること（改善策検討の暇がない）や、中高生の参加が少ないこと、県の補助金打切りに伴う資金面などの課題等に対応する必要がある。	事業終了後から翌年の実行委員会を組織するまでの間に予備実行委員会を立ち上げ、改善策等の検討を行う。ターゲットを明確にするとともに、中高生を主催者側に取り込み、事業に参画できる環境を整えるよう検討する。経費を精査し、さらなる効率的・効果的な事業運営を目指す。
予算	維持		

【平成25年度に向けての二次評価（最終評価）】

評価		理由及び検討事項
内容	維持	中高生を主催側に取り込み、事業を行う必要がある。
予算	維持	